

赦し難きを赦す

—世界の平和を求めて—

画家 元布部村長 加納莞薔（本名辰夫 1904-1977）は、布部村（安来市広瀬町布部）に生まれました。画家として活躍していましたが、第2次世界大戦後の莞薔は平和について強く考える画家になっていました。

昭和24（1949）年から莞薔はフィリピンに収容されていた日本人戦犯助の赦免こそが世界平和を築く教訓になると、当時のフィリピン大統領エルピディオ・キリノ（1890-1956）に訴えました。世界の多くの指導者にも書簡を送り、その数は270通余に及びました。

昭和28（1953）年 キリノ大統領は莞薔の思想に応えるかのように「赦しがたきを赦す」「憎しみの連鎖を断つ」との決断をし、日本人戦犯105人に特赦を与えました。

戦後70年余を経た今、私たちは、莞薔とキリノの二人の平和思想は、日本とフィリピンのみならず、世界の恒久平和を築く思想であると思っています。

加納莞薔とエルピディオ・キリノ



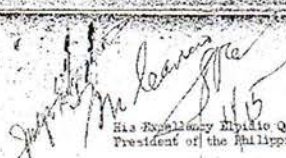
1955. 6. 8 東京帝国ホテル At Tokyo Imperial Hotel, 8 June, 1955

1949年、加納辰夫は、キリノ大統領に対して 戦犯として死刑、終身刑の宣告を受けた人に大統領から『生』を与えてほしいと訴えています。彼らは、大統領から与えられた『生』を戦争否定の立場で生きていくでありましょう、そして、日本に帰ってからは、平和を築く種子となるでありましょうと訴え続けていきます。キリノ大統領には、38 通の嘆願書を送りました。大統領に対して「大統領の愛の心を信じています」そして「あなたの愛児の名において世界の平和を求め続けていきます」と嘆願書をかき続けました。外務省、大使館、刑務所長にも書いていきますが、世界平和は、宗教を超えて求めるものであるとし、キリスト教連合会、そしてローマ法王にも書き続けていきました。

次の書簡は、大統領あて第4書簡です。
フィリピン マニラ 国立公文書館に所蔵されています。

【第4書簡】

(1949.10.30)


His Excellency Elpidio Quirino,
President of the Philippines Republic.

Tokyo,
October 30, 1949.

IN THE PRESENT
NOV 1 1949
RECEIVED
Records Division

Excellency,

I have the honor to address to you another letter in behalf of Takazae Furuse, who has been sentenced to death by the Philippines Military Court.

During the past 200 days since I sent you my first petition I have lived like one doing penance, reflecting on the enormity of war and the share of guilt I must bear as a fellow countryman of Furuse and other Japanese war criminals. The consciousness of my standing together with him before judgement has led me from solemn contemplation of sin and redemption to a deep faith in God. I have come to realize that "the life which I live in the flesh I live by the faith of the Son of God."

I believe more strongly than ever that only the miracle of the unforgivable being forgiven can bring to mankind eternal peace, which will never be achieved by demanding tooth for tooth.

In the beginning did God work miracles to save the world. Now is the moment for still another great miracle.

Excellency, I look forward to witnessing this miracle -- the forgiving of the unforgivable -- in the name of Your beloved children, whom were so brutally snatched away from You.

- 2 -

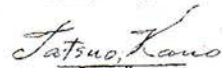
None can measure the depth of the grief, wrath and hate that must have filled your heart. But in the faith I have newly embraced I dare say that it is your dear children in Heaven who were crucified like Christ, and who are now to work the great miracle of mercy that will bring to the feet of God heathens and unbelievers, thanking and praising the Lord.

I pray for the pardon of Furuse, not as a soldier of honor, but as a man. In solitude and in sorrow and contrition he has lived with God for these long weeks and months since his conviction. An ample opportunity has been given him for spiritual regeneration. He will return to his country a living gospel of love, and help rebuild Japan as a peaceful nation, chastened and free.

Excellency, I am a painter of peace. Your Minister, Dr. Africa knows me well. To art and artists there is neither border nor race.

When the great miracle is accomplished, I hope to perpetuate its memory on canvases by being allowed the privilege of painting the hallowed faces of your beloved children as angels of salvation. That would be the best service I could render to the peace and concord between your republic and my country.

Most respectfully


Tetsuo Kano
Fujiya Main Office,
1, Le-chue, Sinsai-nishi,
Chuo-Ku, Tokyo.

<第4書簡>

1949 年 10 月 30 日

大統領閣下

私はフィリピン軍事法廷において死刑を宣せられた古瀬貴季に関し再び嘆願書を奉呈いたします。第一嘆願書を奉呈して以来二百日の間、私は懺悔の生活を守り、古瀬やその他の日本人戦犯と同国民であるが故に負わなければならない戦争の極悪と罪の意識を反省してまいりました。厳粛な罪の意識と神への深い信念の履行から、彼と共に裁きの前にある己を認識いたしました。そして「肉体で生きている生活は、神の子としての信念での生活である」ということを悟りました。

「赦し難きを赦す」という奇跡によってのみ人類に恒久の平和をもたらし、「目には目を」ということでは決して達成し得ないということを、これまで以上に強く感ずる次第であります。まず最初に世界を救うという神の奇跡の顕現がありました。そして今、再び奇跡の現われるべき時であります。

大統領閣下

閣下の手から残虐にも奪い取られた愛児の名において一赦し難きを赦す—この奇跡が現われることを待ち望むところであります。何人といえども閣下の胸中に過ぎる悲しみと怒りと憎しみの深さを量ることはできないであります。しかし、私が新たに抱くに到った信念によれば、キリストの如く十字架にかけられ、異教徒や不信心者をキリストの御足のもとに寄せ、主に感謝し賞讃せしめる慈悲の偉大なる奇跡を顕現させるために努力しているのは天国にいます閣下の愛児たちであります。

私は古瀬の赦免を、軍人としてとか名誉のためにとかではなく、一人の人間としてそれを願うものであります。孤独と悲哀と悔恨のうちに、有罪判決後何週間何ヶ月間、神と共に彼は生きてきております。彼が精神的に復活するには十分な時間が与えられました。彼は愛の具現者として祖国に帰り、自由で平和な国家としての日本の再建に寄与するであります。古瀬は判決において全戦犯を象徴しております。故に全戦犯にも同様に祝福され慈悲が与えられることを信じ切望するものであります。

閣下。私は平和を求める画家であります。貴国公使ベルナベ・アフリカ博士は私のことをよく承知しておられます。芸術や芸術家にとっては国境もなければ人種上の相違もありません。この崇高なる奇跡の成就の暁には、閣下の愛児が神にささげられた姿を救いの天使として、画布の上に不朽にとどめたい覚悟であります。それこそ貴国とわが国との友好と平和を生み出す最良の貢献であります。私は自ら嘆願することによって戦犯と共に裁かれ、神の許しを請う立場にあります。この苦行では絵を描くことができません。全戦犯が古瀬と共に許され復活したその日に、新しい画家として出発する決意であります。

敬具

加納辰夫

【The fourth petition】

October 30,1949

His Excellency Elpidio Quirino,
President of the Philippines Republic.

Excellency,

I have the honor to address to you another letter in behalf my Takesue Furuse, who has been sentenced to death by the Philippines Military Court.

During the past 200 days since I sent you my first petition I have lived like one doing penance, reflecting on the enormity of war and the share of guilt I must bear as a fellow countryman of Furuse and other Japanese war criminals. The consciousness of my standing together with him before judgement has led me from solemn contemplation of sin and redemption to a deep faith in God. I have come to realize that "the life which I live in the flesh I live by the faith of the son of God "

I believe more strongly than ever than only the miracle of the unforgivable being forgiven can bring to mankind eternal peace, which will never be achieved by demending tooth for tooth.

In the beginning did God work miracles to save the world, Now is the moment for still another great miracle.

Excellency, I look forward to witnessing this miracle -the forgive of the unforgivable- in the name of your beloved children who were so brutally snatched away from You.

None can measure the depth of the grief, wrath and hate that must have filled your heart. But in the faith I have newly embraced I dare say that it is your dear children in Heaven who were crucified like Christ, and who are now to work the great miracle of mercy that will bring to the feet of God heathens and unbelievers, thanking and praising the Lord.

I pray for the pardon of Furuse, not as a soldier of honor, but as a man. In solitude and in sorrow and contrition he has lived with God for these long weeks and months since his conviction. An ample opportunity has been given him for spiritual regeneration. He will return to his country a living gospel of love, and help rebuild Japan as a peaceful nation, chastened and free.

Excellency, I am a painter of peace. Your Minister, Dr. Africa knows me well. To art and

artists there is neither border nor race.

When the great miracle is accomplished. I hope to perpetuate its memory on canvass by being allowed the privilege of painting the hallowed images of your beloved children as angels of salvation. That would be the best service I could render to the peace and concord between your republic and my country.

Most respectfully.

Tatsuo Kano

加納が嘆願書を送り始めてから4年後、日本人戦犯はキリノ大統領の恩赦により帰国となりました。

キリノ大統領声明

1953年7月6日、

私は、フィリピンで服役中の日本人戦犯に対し、フィリピン議会の賛同を必要とする大赦ではない特赦を与えた。

私は、妻と3人の子供、5人の親族を日本人に殺されていたので、彼らを赦そうとは思っても寄らなかった。私は、自分の子供や国民に、我々の友となり、我が国に末永く恩恵をもたらすであろう日本人に対して憎悪の念を私から受け継がないために、これを行うのである。結局、運命が私たちを隣人となさしめた。

Statement of President Quirino

July 6, 1953.

I have extended executive clemency to Japanese war prisoners serving terms in the Philippines not as an amnesty which requires concurrence of the Philippine Congress.

I should be the last one to pardon them as the Japanese killed my wife and three children and five other members of the family. I am doing this because I do not want my children and my people to inherit from me hate for people who might yet be our friends for the permanent interest of the country. After all, destiny has made us neighbors.

大統領の恩赦については、戦犯のご家族、また関係の人々の嘆願書も多く大統領に届いたこと、また政府関係者、教誨師、歌手の方々のご尽力も伝わっております。しかし、加納の考えは、加納は、「これからが、スタートである」、といい、「大統領は、我々に教訓を与えたのだ。」と言いつづけました。大統領の赦しは、我々の課題であると。



キリノ大統領

その声明は、大統領の苦渋の決断であると考えた加納は、これこそ平和へのスタートであると確信しました。世界平和に向けて知らせるべきものだとして訴えていきました。

そして愛児の名において許す大統領の思いを未来の平和につなげるために、世界の子どもの人権を守り、平和を築く、『世界児童憲章』をつくっていくことがキリノ大統領及びフィリピン国民に感謝すべきことと言いつづけていました

加納莞薺の願い

私は、1949 年から今日まで“比島の戦犯赦免のモラルを生かして全戦犯問題を解決する”ために努力してきた。私はこの帰結点を「世界児童憲章」とし、永遠に世界のヒューマニティに生かされる道に求めずにはいられない。

戦争の厳しい反省のなかに民族相互の憎しみ、そのかげに民族蔑視の陰惨（いんさん）な影を見ることを悲しむ。永遠の平和は、次の世代に求め、これを子どもたちに期待せねばならぬ。そのためには、ニューヨークの子どもも、北京の、また 東京、マニラの子どもも文化から遠く隔てられた未開地の子どもも等しくその人権は、尊重されねばならない。

原水爆禁止の叫びもいかなる取り決めも世界のヒューマニティが基礎づけられねば何らの効果も持ちえない。

すべては、平和のためにそして児童のために。

前比島大統領エルピディオ・キリノ氏は、子どものためにすべての罪人を許した。そのモラルは永遠に全人類の胸に焼き付けねばならない。

加納辰夫 （1974 年記要約）

加納はキリノの『戦犯赦免のモラル』こそが世界の平和につながると考えました。加納は次の大統領ラモン・マグサイサイ、カルロス・ガルシアにも キリノ大統領とフィリピン国民への感謝の意を伝え、日比の友好を心から願う書簡を送っています。マグサイサイ大統領、ガルシア大統領からは直接の返書も残っています。

そして、キリノ大統領と加納辰夫の思いは今も人々によってつながり広められています。



エルピディオキリノ大統領顕彰碑(東京・日比谷公園)
2016. 6. 18(天皇皇后両陛下訪比の年に)



世界の平和を求めて
加納莞菴とエルピディオキリノ 友好の碑
(島根県 安来市加納美術館)

2016. 19. 23 皆様のご寄付により建立



エルピディオキリノ大統領生誕125周年式典
2015.11. 16 フィリピン・ビガン市
私どもも招待を受けました。



【マニラ】 Manila



マニラ ハイ・スクールを訪ねて
2017. 11. 16



マニラ日本人学校の生徒たちの演劇
『平和を求めて キリノと加納の絆』
2019. 9. 7



【モンテンルパ】 Muntinlupa



「平和への祈りーアリシアと3人の愛児たち」
(安部朱美作(米子市在住))



平和を願う像は、モンテンルパ博物館に展示されることとなりました。
(2019. 3. 1)

モンテンルパ博物館
2019. 3. 1 オープン

【画家 加納莞菴(辰夫)の作品】
いくつか ご紹介です



魚市場 (1933年)



掬水秋景 (1933年)



かくれんぼと魚 (1953年)



ダリアと柘榴 (1937年)



紫陽花 (1953年)



黒牡丹
(1970年)



屏風 松濤 (六曲一双) (1972年)

今、私はいろいろな場で平和を求めて戦犯を赦免した大統領の平和への思いについて講演活動をしています。キリノの思いをより多くの日本人に知られることこそ次世代の平和につながると信じています。そして世界に平和を願っています。

フィリピンと日本の友好がますます続きますことと、フィリピンと日本の平和が世界に示され世界平和に繋がりますことを祈って。

加納佳世子(加納辰夫 四女)



安来市加納美術館

Yasugi Kano Museum of art

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27

☎ 0854-36-0880 FAX 0854-36-0881

<http://www.art-kano.jp>

